

シリーズ～終末を生きる～
ヨハネの黙示録 13章

2018/8/12

666

屠られた小羊

7つの封印の出来事

終末の到来
を認識する

征服者

戦争

物価高騰

飢饉疫病

殉教者

天の異変

第7封印

悔い改めない人々

終末の出来事(6~9章)

第7ラッパ

2億の兵

いなご

天体異常

水の汚染

海の災い

陸の災い

7つのラッパの出来事

挿入されているエピソード

- 「小さな巻物」を食べさせられる(10章)
 - ヨハネの預言者としての再召命
- 「二人の証人」(11章)
 - 終末期における積極的宣教
- 女と竜(12章)
 - 女(イスラエル+教会)と竜(サタン)をめぐる終末までのいきさつ
 - 「竜は女に対して激しく怒り、その子孫の残りの者たち、すなわち、神の掟を守り、イエスの証しを守りとおしている者たちと戦おうとして出て行った。そして、竜は海辺の砂の上に立った。」(17-18)

ヨハネの黙示録 13章

わたしはまた、一匹の獣が海の中から上って来るのを見た。これには十本の角と七つの頭があった。それらの角には十の王冠があり、頭には神を冒瀆するさまざまの名が記されていた。わたしが見たこの獣は、豹に似ており、足は熊の足のようで、口は獅子の口のようであった。竜はこの獣に、自分の力と王座と大きな権威とを与えた。この獣の頭の一つが傷つけられて、死んだと思われたが、この致命的な傷も治ってしまった。そこで、全地は驚いてこの獣に服従した。竜が自分の権威をこの獣に与えたので、人々は竜を拝んだ。

人々はまた、この獣をも拝んでこう言った。「だれが、この獣と肩を並べることができようか。だれが、この獣と戦うことができようか。」この獣にはまた、大言と冒涇の言葉を吐く口が与えられ、四十二か月の間、活動する権威が与えられた。そこで、獣は口を開いて神を冒涇し、神の名と神の幕屋、天に住む者たちを冒涇した。獣は聖なる者たちと戦い、これに勝つことが許され、また、あらゆる種族、民族、言葉の違う民、国民を支配する権威が与えられた。地上に住む者で、天地創造の時から、屠られた小羊の命の書にその名が記されていない者たちは皆、この獣を拝むであろう。

耳ある者は、聞け。捕らわれるべき者は、捕らわれて行く。剣で殺されるべき者は、剣で殺される。ここに、聖なる者たちの忍耐と信仰が必要である。

わたしはまた、もう一匹の獣が地中から上って来るのを見た。この獣は、小羊の角に似た二本の角があって、竜のようにものを言っていた。この獣は、先の獣が持っていたすべての権力をその獣の前で振るい、地とそこに住む人々に、致命的な傷が治ったあの先の獣を拝ませた。そして、大きなしるしを行って、人々の前で天から地上へ火を降らせた。更に、先の獣の前で行うことを許されたしるしによって、地上に住む人々を惑わせ、また、剣で傷を負ったがなお生きている先の獣の像を造るように、地上に住む人に命じた。

第二の獣は、獣の像に息を吹き込むことを許されて、獣の像がものを言うことさえできるようにし、獣の像を拝もうとしない者があれば、皆殺しにさせた。また、小さな者にも大きな者にも、富める者にも貧しい者にも、自由な身分の者にも奴隷にも、すべての者にその右手か額に刻印を押させた。そこで、この刻印のある者でなければ、物を買うことも、売ることもできないようになった。この刻印とはあの獣の名、あるいはその名の数字である。ここに知恵が必要である。賢い人は、獣の数字にどのような意味があるかを考えるがよい。数字は人間を指している。そして、数字は六百六十六である。

海から上ってくる獣

- 竜(サタン)と同じような姿
 - 「十本の角と七つの頭があった。それらの角には十の王冠」(1)(→12:3)
- 速く・強く・獰猛である
 - 「豹に似ており、足は熊の足のようで、口は獅子の口のようであった」(2)
- 竜に権威を与えられる
 - 「竜はこの獣に、自分の力と王座と大きな権威とを与えた。」(2)

獣の活動

- 42か月(3年半)活動する > 11章と同時期？
 - 「獣は口を開いて神を冒瀆し、神の名と神の幕屋、天に住む者たちを冒瀆した。」(6)
- 聖なる者たちに勝利し、世界を支配する
 - 「獣は聖なる者たちと戦い、これに勝つことが許され、また、あらゆる種族、民族、言葉の違う民、国民を支配する権威が与えられた。」(7)
- 獣を拝む人々
 - 「地上に住む者で、天地創造の時から、屠られた小羊の命の書にその名が記されていない者たちは皆、この獣を拝むであろう。」(8)

終末期の人々への警告

「耳ある者は、聞け。捕らわれるべき者は、捕らわれて行く。剣で殺されるべき者は、剣で殺される。ここに、聖なる者たちの忍耐と信仰が必要である。」(9-10)

- 突然語られる警告の言葉
 - 獣に逆らう者(イエス・キリストを信じるもの)は捕らわれたり殺されたりする
- 終末期には本当の信仰が試される
 - 最後の救いのチャンスであるが過酷である

地中から上ってくる獣

- キリストに似ているが竜の手先
 - 「小羊の角に似た二本の角があって、竜のようにものを言っていた。」(11)
- 大きなしるしを行って獣の像を拝ませる
 - 「大きなしるしを行って、人々の前で天から地上へ火を降らせた。…獣の像を造るように、地上に住む人に命じた。」(13-14)
 - 「獣の像に息を吹き込むことを許されて、獣の像がものを言うことさえできるようにし、獣の像を拝もうとしない者があれば、皆殺しにさせた。」(15)

666

- 獣に従う証しとして刻印を押す
 - 「小さな者にも大きな者にも、富める者にも貧しい者にも、自由な身分の者にも奴隷にも、すべての者にその右手か額に刻印を押させた」(16)
- 刻印がなければ物を買うことができない
 - 「この刻印のある者でなければ、物を買うことも、売ることもできないようになった。」(17)
- その刻印は「666」である
 - 「この刻印とはあの獣の名、あるいはその名の数字である。…数字は六百六十六である。」(18)

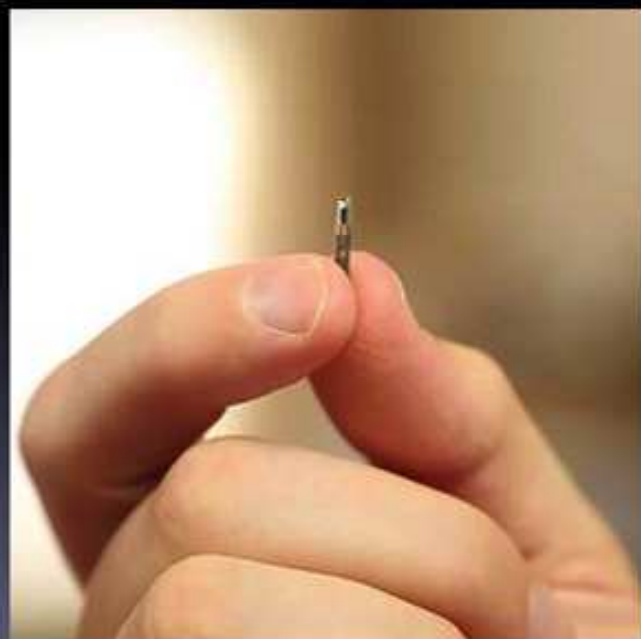
バーコードに隠された666

世界共通の商品番号表示であるバーコードの最初と真ん中と最後にある2本線(ガードバー)が“6”を表すことから、これが黙示録に預言された刻印だ、と騒がれた!



実際に始まっている666

- アメリカの自動販売機メーカーが従業員50人の右手にチップを埋め込んだ!
 - 手をかざすだけでドア・自販機・パソコンなどが使える



二匹の獣による恐怖の支配

- 海から上ってくる獣
 - サタンの手下として世界を支配する人物、あるいは国家、あるいはネットワーク
- 地中から上ってくる獣
 - 最初の獣に出現する偽預言者
 - 獣(竜)に従わない者を選別し、苦しめ、殺害する

二匹の獣による恐怖の支配

- 海から上ってくる獣
 - サタンの手下として世界を支配する人物、あるいは国家、あるいはネットワーク
- 地中から上ってくる獣
 - 最初の獣に出現する偽預言者
 - 獣(竜)に従わない者を選別し、苦しめ、殺害する

**小羊(キリスト)に従うか竜(サタン)に従うか
数字によって明確に区別される**